

2025 年 10 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025 年 10 月 29 日公表）において、「景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「倒産件数」において基調判断が引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に 9 月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」「輸出」「輸入」「設備投資」「住宅建設」「公共投資」のいずれについても判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「業況判断」「生産」「企業収益」に関する判断が維持された。一方で、人手不足などを理由に事業継続が困難となる企業が増加したことを踏まえ、「倒産件数」に関する判断が下方修正された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「このところ横ばいとなっている」、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられるほか、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響、不透明感がみられる」との表現が維持された。国・地域別に関しても、判断に変更はなかった。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（9 月）は、前年同月比 0.7%減となり、3 か月連続で前年を下回った。業態別では、県内唯一の百貨店である近鉄百貨店和歌山店の販売額（9 月）が前年同月比 1.5%減であった。食料品の価格上昇は継続しており、家計の節約志向の強まりが懸念される。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、9 月）は、前年同月比 6.6%減となり、3 か月連続で前年を下回った（3 か月連続の前年割れ）。車種別では、登録車が前年同月比 9.8%減、軽乗用車が同 2.2%減となっている。全国の販売動向を見ても、3 か月連続で販売台数が前年を下回っており、物価高騰や車両の値上げによる消費者の購入意欲の低下、一部車種での納期長期化などが販売減につながっている。

新設住宅着工戸数（9 月）は、前年同月比 12.4%増となり、2 か月ぶりに前年を上回った。1 月～9 月累計での新設住宅着工戸数（2,510 戸）は前年同期比 11.7%減となっており、同時期の着工戸数としては直近 10 年間で最も少なくなっている（最も多かったのは 2019 年で 3,796 戸）。

住宅種別では、「貸家」で前年同月比 30.2%の減少となった一方、「持家」では前年同月比 30.9%の増加となっている。

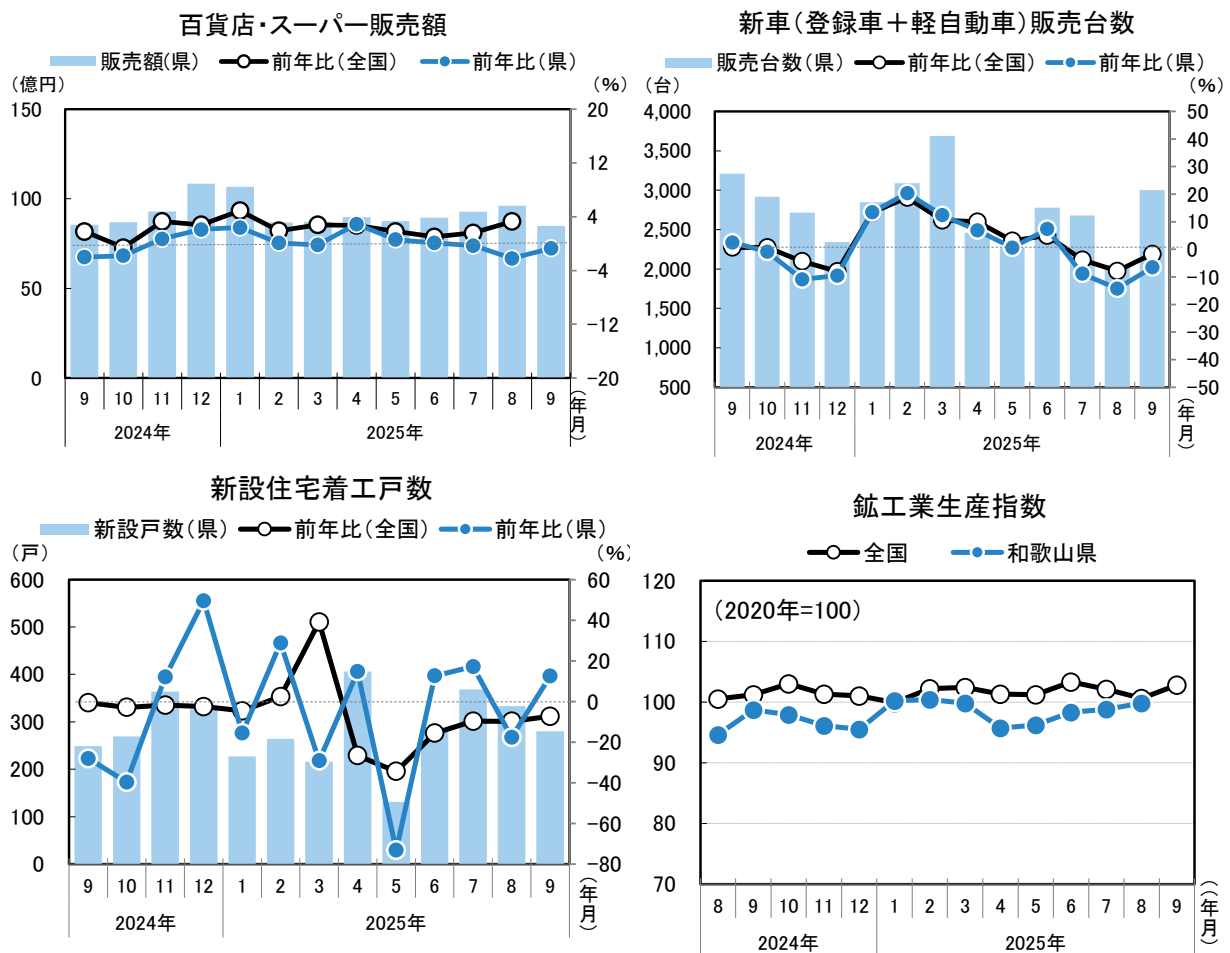
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（8 月）は、前月比 1.0 ポイントの上昇となった（上昇は 4 か月連続）。主力業種である「生産用機械工業」、「鉄鋼業」の生産指数が上昇している。

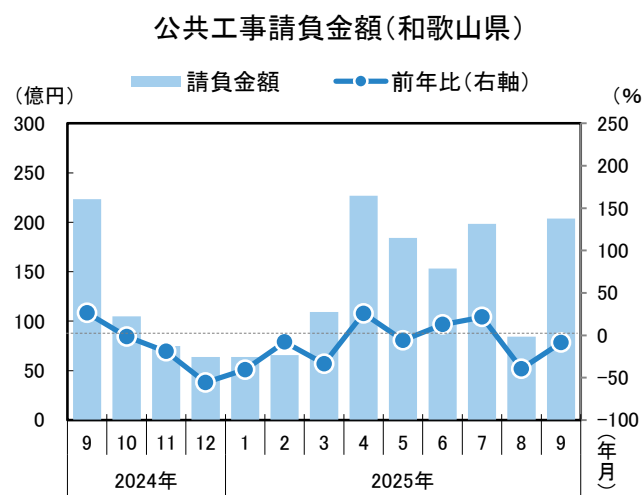
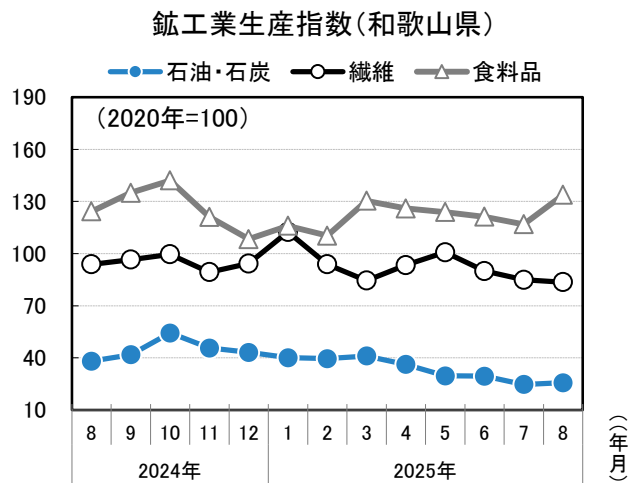
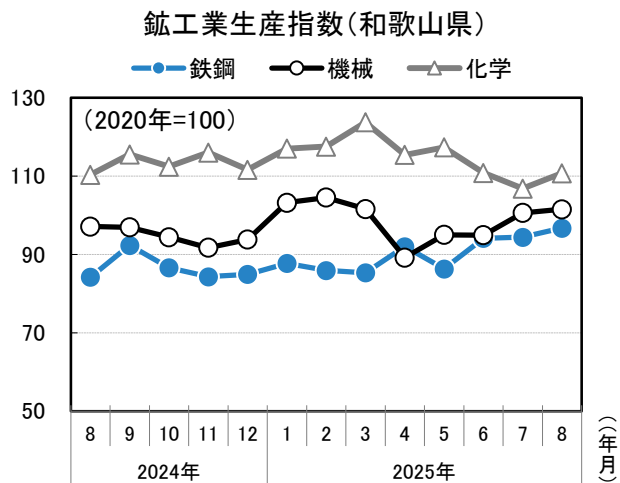
国内全体では、米トランプ政権による関税政策の影響もあり、自動車工業や生産用機械工業などで減産の動きが広がり、生産指数は「一進一退」の状況にある。日米関税交渉は合意に達し、先行き不透明感は弱まっているものの、生産指数は横ばいでの推移が見込まれる。

公共工事請負金額（9月）は、前年同月比 8.7%減となった。ただし、4月～9月累計での請負金額は前年同期比 1.2%増となっている。2021年度以降、減少傾向にある請負金額だが、足下では底打ちの兆しが見られる。

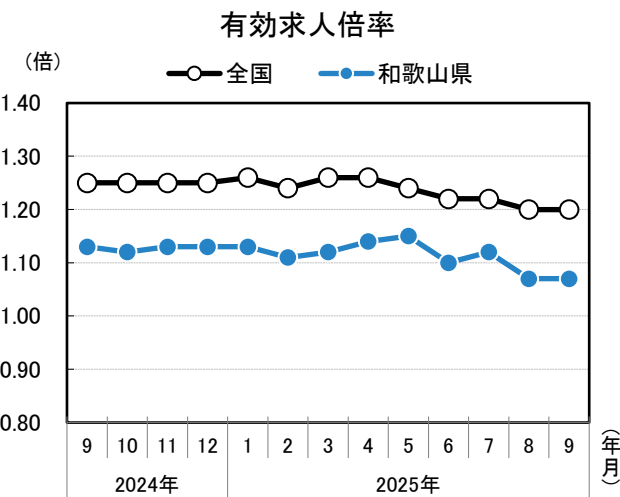
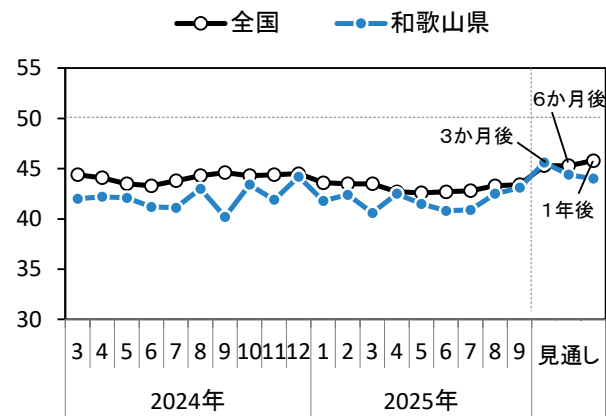
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（9月）は、前月から 0.6 ポイント上昇した（上昇は 3 か月連続）。小売業などで景気 DI が上昇する一方で、卸売業は下降し、40 を下回る低い水準にある。帝国データバンクは、大都市圏の企業との商流を持つ企業と県内での商流に留まる企業との景況感に差が生じており、県内企業の景況感は今後一進一退が続くものと予想されるとレポートしている。

③ 雇用面については、有効求人倍率（9月）は、前月と同水準である 1.07 倍となった。和歌山労働局は「雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いているが、持ち直しの動きに弱さがみられる」としている。11 月からは最低賃金が 65 円引き上げられ、事業者の人件費負担増に伴う、求人控えが懸念される。今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。





TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料)株式会社データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.9	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.8	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	0.0	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4

(2025年11月4日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2024年8月	100.5	94.6	84.2	97.1	110.3	38.1	93.8	124.3	139.5	37.2	43.0
9月	101.2	98.7	92.3	96.9	115.5	41.8	96.5	135.0	223.2	26.2	40.2
10月	103.0	97.9	86.6	94.4	112.4	54.3	99.6	142.1	104.9	-1.5	43.4
11月	101.3	96.1	84.3	91.7	116.0	45.7	89.3	121.1	74.7	-19.0	41.9
12月	101.0	95.5	84.9	93.8	111.6	43.2	94.3	108.3	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	100.2	87.7	103.2	117.0	40.1	112.5	116.0	63.9	-40.7	41.8
2月	102.2	100.4	85.9	104.5	117.5	39.6	93.8	110.3	65.7	-8.1	42.4
3月	102.4	99.8	85.3	101.6	123.7	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6
4月	101.3	95.7	92.0	89.2	115.4	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.2	96.2	86.3	95.0	117.3	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	103.3	98.3	94.1	94.9	110.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	102.1	98.8	94.4	100.6	106.8	24.7	84.9	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	100.6	99.8	96.7	101.5	110.7	25.7	83.6	133.8	84.4	-39.5	42.5
9月	102.8								203.7	-8.7	43.1

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年11月4日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者 数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2024年8月	1.24	1.14	16,484	14,442	12.6	13.7
9月	1.25	1.13	16,340	14,492	12.7	17.7
10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5
2月	1.24	1.11	16,292	14,683	12.3	18.3
3月	1.26	1.12	16,274	14,492	18.4	22.5
4月	1.26	1.14	16,192	14,194	15.0	20.2
5月	1.24	1.15	16,502	14,298	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,150	14,635	15.6	19.5
7月	1.22	1.12	16,209	14,495	12.3	19.2
8月	1.20	1.07	15,803	14,790	12.9	16.4
9月	1.20	1.07	15,723	14,704	12.8	18.0

(2025年11月4日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。